

平成 19 年度（ 広 報 ） 委員会報告

委員長◎大澤広美 委員名 夏村真奈巳 政木信子

1. 委員会開催状況

開催日	議題	内容	出席委員名
6 / 16	大潮印刷	原稿の印刷・発行	大澤・夏村
9 / 22	大潮印刷	原稿の印刷・発行	大澤・夏村
12 / 15	大潮印刷	原稿の印刷・発行	大澤・夏村
2 / 23	大潮印刷	原稿の印刷・発行、年間目標の実施・結果・評価	大澤・夏村

他、随時メールにて大潮の内容確認、連絡調整を行う

2. H19 年度委員会目標に対する結果・評価

目 標	内 容	結果・評価
1. 計画的・効率的な広報発行活動に取り組む。 1) 発行計画にもとづく年間4回の大潮を発行する。 2) 編集・発行に対する委員の役割機能を明確化し効率的な運営をする。	1. 大潮発行計画に基づき、原稿依頼及び編集・印刷・発行した 2. 役割分担表を年度開始時に作成し、広報委員の役割を明確にした 3. 委員との連絡は電子メールを主に活用し、大潮印刷時にも連絡調整を行った	・年間計画に基づき大潮（24〜27号）を発行する。 ・個々の役割を認識した上で、それぞれ協力し予定通り大潮の発行ができた。 ・発行に関連した事務的業務について効率的視点での改善が必要。
2. 会員への広報大潮の役割を果たす。 1) 支部事業、理事会情報を積極的に広報する。 2) 研修企画、他機関の情報を提供する。	1. プロジェクトの進捗状況を大潮に掲載し、会員に現状報告をした 2. 研修会のお知らせを大潮と一緒に発送した 3. 研修会の感想や新聞のトピックスなどを掲載したり、写真を取り入れるなどの工夫を行った。	・支部事業、理事会情報などを大潮に掲載することができた ・研修企画なども教育委員と連絡をとり、大潮発行に合わせてお知らせ等を配布した ・研修等の感想など各ブロック長、委員長より連絡をもらい掲載した。もう少し広報委員より研修参加者へ意見・感想など呼びかけをしていく必要がある。
3. 支部と連携を図り他機関への広報活動を進める	1. 各号の大潮発行にあたり支部長、副支部長に発行の連絡と内容を電子メールにて報告・確認 2. 理事会に出席し、原稿依頼および他役員等の連絡・検討に関わった 3. 大潮を日本助産師会、他産科医院に発送した	・大潮を他機関に発送し、千葉県支部の活動状況を認知してもらおう働きかけができてきた。 ・専門職団体としての機能、会員拡大のために助産師学校等へ意識付け、入会の方法を広報していく。
4. 支部パンフレット作成に協力する。	1. 資料収集 2. 広報委員で内容を検討 3. 理事会で内容を検討 4. 各ブロック・委員会の紹介文原稿を依頼した	・原稿依頼はしたが集まらず、原案の作成が中断している。 ・各委員会・ブロックに再度原稿を依頼し、今後、さらに内容およびレイアウトの検討を行う

3. 次年度（H19年度）課題

- 1) 目標1は、達成できているので今後も継続する
- 2) 目標2は、支部の理事会や研修の日程を考慮の上、大潮の発効日を決定する
- 3) 目標3は、さらに他機関に向けた広報活動を広げていく
- 4) 目標4は、20年度中にパンフレットが作成できるよう具体的な内容・作成日程を決定する